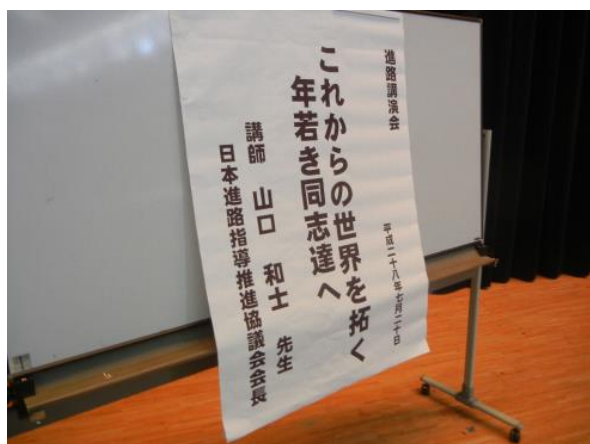


3年生 進路講演会および難関大志望者対象進路講演会

7月21日（水）、日本進路指導推進協議会会長（群馬県立高崎東高等学校前校長） 山口和士先生をお招きして進路講演会を開催しました。3、4時間目の時間帯は「これからの世界を拓く年若き同志達へ」という演目で3年生に向けて講演をしていただきました。また、13時30分～15時の時間帯では3年生難関大志望者対象の講演会を開催し、82名の生徒が参加しました。先生の知識と経験に裏打ちされた講話に強い刺激を受け、やる気に満ち溢れた表情で聞き入っていました。

講演会の後は、午後6時までの約3時間、生徒個別の相談に応じていただき、生徒たちは長蛇の列をつくっていました。



- ・とても興味をひかれるお話でした。なぜ大学に進学するのかと問われたとき、「就職して生きていくため」ということが1番に頭に浮かびました。しかし先生の、「命を磨く」、「真実が何かを見極めるため」ためというお話を聞いて、自分もそのように考えたら、今まで以上に勉強を頑張ることができのではないかと考えさせられました。
- ・消化しきれないほどのやる気が出ました。
- ・先生のお話を聞いて、少しポジティブに考えられるようになりました。今日まで、これからしないといけないことがいっぱいあって頑張れるかどうか自信がなくなっていました、頑張る勇気ができました。
- ・今日の講演を聴き、これまで大学に対して持っていた印象が変わりました。私は難関大学を目指し、様々な価値観を持った人や、国際的な交流を含めて、自分の考え方や価値観といったものを高めていきたいと思いました。
- ・最近、第1志望以外の大学のオープンキャンパスに行って、難関大学に挑戦する意味がわからなくなってしまっていたけど、やっぱり第1志望の難関大学に行って学びたい、いろんな人とつながりたいと思った。かたい説明会ばかり聴いていると、現実ばかりが迫ってきて、勉強する意味もわからなくなったりするけど、自分がやりたいこと、知りたいことに合った大学に行くために、勉強を頑張ろうと思う。